

地域農業を支える農政への転換

～ 「家族農業の10年」と持続可能社会を見すえて ～

国内の農業政策は、TPP11や日米貿易協定など自由貿易の拡大と合わせ、競争力強化に特化した大規模化・企業化が進められています。地域農業は担い手不足や後継者問題を抱え、農家戸数は減り続け、地方の疲弊は深刻さを増しています。

農業が、食料生産という産業面だけでなく、地域経済や環境保全、文化や教育など生活面とも密接に関連していることや、安全・安心な食料生産を持続させていくうえで、家族経営や小規模経営を見直す動きも出てきています。

そうした点も含めて、農業政策がどうあるべきか、地域農業の実情を見ながら、みなさんで考え合います。

と き 2月22日(土) 13時～16時

どなたでも
参加できます

ところ 盛岡市「サンビル 7F大ホール」



基調講演

「農業政策の評価と持続可能性の視点(仮)」
横山 英信 氏(岩手大学人文社会科学部 教授)

実践報告

花巻市内の営農組合
若手農業者

ディスカッション

参加費 500円(資料代)

主催：岩手農民大学(賛助団体：岩手県農民連、岩手県生協連、いわて生協、いわて労連、岩手自治労連、
JA岩手県青年組織協議会、JA岩手県女性組織協議会、岩手県農協労組)

申込み・問合せ：事務局(岩手県農協労組) 〒020-0863 盛岡市南仙北2-25-6

TEL 019-656-7411 / FAX 019-656-7412 / メール inr@echna.ne.jp